

各位

会社名 タツモ 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 俊夫  
( JASDAQ・コード6266 )  
問合せ先  
役職・氏名 取締役経理部長兼経営企画室長  
亀山 重夫  
電話番号 0866-62-0923

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、この度、「タツモグループ中期経営計画(TAZMO Vision 2014)」を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 策定の背景と目的

当社グループにおきましては、平成22年2月10日に発表いたしました「タツモグループ中期経営計画 (TAZMO Vision 2012)」に基づき事業を展開いたしておりましたが、東日本大震災、歴史的な円高、液晶テレビの供給過剰等事業環境が、計画策定時より激変したため、前中期計画は、2012年12月期を残しておりますが、現経営陣のコミットメント目標として、新たに「タツモグループ中期経営計画(TAZMO Vision 2014)」を策定し、今後の経営目標として展開してまいります。

#### 2. グループ基本戦略

当社グループは、ユーザーの要求する性能の装置を、適切なタイミング、適切な価格で提供することを目指しております。そのような活動をすることで、最終的に社会に貢献することにつながると考えております。そのためには、全社員が先端の技術・情報を得るために、常に社是である「挑戦」の気持ちを持って行動し、貪欲に変化し続けなければならないと考えております。(学習と実践あるのみ。)今後もこの基本方針のもとに、多角的、グローバルな事業展開を積極的に行い、業績の向上を図り、企業価値を高めてまいります。

将来にわたる成長を実現させるための施策として、独自性のある装置(性能、コスト、サービス)を着実に作り上げることに全力を傾け、顧客ニーズに対応し売上高を伸ばしてまいります。さらに事業を見据えた研究開発に焦点を絞り、その効率を高め将来の収益確保を実践してまいります。

具体的には、以下のことに取り組んでまいります。

##### (1) 既存事業戦略

###### ① 半導体関連機器事業

半導体用シリコンウエハー搬送機構は、各ユーザーのニーズを適格に対応し今後も安定的な推移が見込まれ、加えて新製品を投入し事業拡大に取り組んでまいります。

半導体製造装置は、新規開発したレジスト塗布装置、TSVプロセス装置、枚葉洗浄装置がユーザーから高い評価を受けており、装置の量産にむかって着実に実践してまいります。

###### ② 液晶製造装置事業

液晶テレビ業界は、製品供給過剰の状態となっており、先行きについても設備投資は見込めません。タッチパネル、電子ペーパー、有機EL関連での装置開発、営業を強化しCF塗布装置の売上減少をカバーしてまいります。

###### ③ 金型・樹脂成形事業

金型と樹脂成形の受注を一貫として行う垂直統合ビジネスを事業の中心として、プレテック(国内)、上海、大連の生産拠点にて効率的な製造を行い、収益に重点を置いた活動を行ってまいります。特に海外生産に重点を置き、順次国内生産をシフト致してまいります。

## (2) 新規事業戦略

### ①有機EL照明用塗布プロセス開発

当社他3社及び2大学による\*NEEDOからの受託事業である「有機EL照明の高効率・高品質化に係る基礎基盤技術開発」が平成25年度まで共同で開発を行なう予定になっております。当社の受け持つ薄膜形成プロセスの試作機から量産試作機、そして量産機へと各フェーズにおいて装置事業を推進してまいります。

※ NEEDO … 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

### ②塗布装置

有機EL関連や、電子ペーパー、タッチパネルなどのメーカーからも、塗布実験要請が多く、これらの市場拡大に連動して装置事業を推進してまいります。

### ③半導体関連装置

TSVプロセス装置、枚葉洗浄装置、半導体プロセス製造装置、新規ウェハー搬送機構を開発しており、早期に収益事業として確立してまいります。

### ④基板検査装置

プリント配線基板へ負荷をかけ疑似不良を検出できるIPCRテスター装置開発に成功しており、今後量産装置に向けての開発を進め売上拡大を推進してまいります。

### ⑤無機EL照明

当社の塗布技術を応用し消費電力を従来よりも50%に抑えた無機EL照明の開発に成功いたしました。今後照明メーカー等他社との協業により無機EL照明の最終製品の販売まで事業確立してまいります。

### ⑥ミニマルファブ

革新的な半導体製造プロセスの共同開発事業に参加。協業各社との共同開発事業において、当社の搬送システム技術を活かし開発を進めてまいります。

## (3) 原価低減

歴史的な円高、最終製品の普及とともに、装置価格の下落は益々進んでおります。収益性向上のために、設計段階から抜本的な原価低減を確立してまいります。さらに海外への生産シフトを積極的に推進してまいります。

## (4) 海外市場の拡大

現在、市場の拡大とユーザーニーズに対応するため、米国、中国(上海、大連)、ベトナム、韓国に子会社を台湾に支店を設立しております。営業、メンテナンス体制の充実とあわせて、生産体制の拡大を図ってまいります。

## (5) 企業力の強化

企業の社会的責任を果たし、当社グループを取り巻く多くの利害関係者から高い信頼と満足をいただけることが、持続的な企業価値向上につながると認識いたしております。そのために、コーポレート・ガバナンスの基盤となるコンプライアンス、内部統制、リスク管理等の経営管理面の最適化を図り透明性の高い経営を目指してまいります。

## 3. 数値目標(連結)

### 2014年度目標値

売上高 120億円以上

経常利益率 5%以上

配当性向 20%以上

研究開発費 3年間で15億円

「TAZMO Vision 2014」における計画値

(単位:百万円)

|       | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 売上高   | 7,816  | 11,037 | 12,540 |
| 経常利益  | 107    | 474    | 648    |
| 経常利益率 | 1.3%   | 4.3%   | 5.2%   |

本資料に記載されている業績目標は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのためさまざまな要因により、実際の業績が目標ならびに予測と異なる可能性があります。